

第四回坂東三十三観音霊場巡拝の旅

謹啓 時下多端の折、皆様ご清祥の事とお慶び申し上げます。

古くから日本人の間で最も広く信仰されている仏さまに観音様がいます。この観音様は日本中のどの地方へ行っても必ずといってよい程多く祀られ、私どもにより親しみを感じさせて下さいます。九之坪地区寺院では第四回坂東巡拝の旅を計画させて頂きました。是非、ご参加賜ります様ご案内申し上げます。 合掌

※坂東三十三観音結願のお参りです。

募集要項

- ◆期 間 **平成 29 年 6 月 14 日(水)～6 月 16 日(金) 2 泊 3 日**
- ◆募集人員 20 名様 *定員になり次第締め切らせていただきます。お早目にお申込下さい。
- ◆旅行代金 66,000円
- ◆申し込み 平成 29 年 5 月末日までに会費全額を添えて菩提寺へお申込ください。
御朱印料は出発当日バス車内にてご集金させていただきます。
※百観音証をご希望の方は併せてお申込み下さい(別途 3,000 円必要です)
- ◆納経用品 掛軸 15,000 円 御朱印帳 1,200 円 着用白衣 2,200 円 朱印白衣 1,500 円
- ◆御朱印料 掛軸 500 円× 7 カ寺=3,500 円
帳面 300 円× 7 カ寺=2,100 円
白衣 200 円× 7 カ寺=1,400 円
※日光東照宮の御朱印は入っておりません。
- ◆持 ち 物 お参り用品(念珠など)・健康保険証・常備薬など
- ◆乗 り 物 貸切観光バス
- ◆旅行主催 **九之坪地区寺院**

平田寺 ☎0568-48-6806 松元院 ☎0568-21-2929

観昌寺 ☎0568-48-6515 瑞雲寺 ☎0568-21-0522

- ◆旅行受注 株式会社 旅企画 (担当:高田 昌吾)
TEL:052-613-8648 FAX:052-613-8649
〈愛知県知事登録旅行業第 3-1409〉 名古屋市中区金山 5-3-5

◆旅程表 *交通状況などによりコース・時間が一部変更となる場合がございます。ご了承下さい。

6月14日 (水)	07:00 ご昼食はお弁当の予定です。 十所社—最寄のIC—伊勢湾岸・新東名経由・首都高速・東北道—岩槻IC— ⑫慈恩寺—慈恩寺玄奘塔—たまり漬本舗—鬼怒川温泉(泊)
6月15日 (木)	08:00 旅館—日光東照宮(輪王寺・東照宮)—いろは坂—⑬中禅寺—(昼食)— 17:30頃 華嚴の滝—金精峠—⑭長谷寺—⑯水澤寺—伊香保温泉(泊)
6月16日 (金)	08:00 旅館—庵古堂(買物)—渋川伊香保IC—関越道—花園IC—⑰慈光寺— ⑩正法寺—⑪安楽寺—(昼食)—川島IC—圏央道—八王子JCT—中央道— 19:30頃 小牧IC—十所社

- ◆宿泊箇所 6月14日 鬼怒川温泉「鬼怒川グランドホテル夢の季」
栃木県日光市鬼怒川温泉大原 1021 ☎0288-77-1313
6月15日 伊香保温泉「ホテル天坊」
群馬県渋川市伊香保町伊香保 396-20 ☎0279-72-4489

慈恩寺玄奘塔…西遊記で名高い玄奘三蔵法師の霊骨石塔です。十三重で高さは約 15m あり、慈恩寺が管理しています。三蔵法師の遺骨は、宋の時代に長安から南京にもたらされた後、太平天国の乱で行方不明になりましたが、第2次大戦中に南京を占領していた日本軍が、偶然にも土木作業中に法師の頭骨を納めた石箱を発見(昭和17年)しました。頭骨は、当時の南京政府に還付され、昭和19年に南京玄武山に玄奘塔を建立し奉安されるとともに、日本へも分骨されたのです。日本へ渡った頭骨は、当初芝増上寺に安置されましたが、折しもその頃の東京は空襲の被害が広がり、一時埼玉県蕨市の三学院に移され、さらに三蔵法師の建立した大慈恩寺にちなんで命名された慈恩寺に疎開しました。第2次大戦後、日本の仏教界が正式な奉安の地を検討した際に、三蔵法師と縁の深い慈恩寺が奉安に最適の地とされ、昭和25年に十三重の花崗岩の石組みによって玄奘塔が築かれました。その後、慈恩寺から台湾の玄奘寺(昭和30年)や奈良の薬師寺(昭和56年)へも分骨されています。

領 収 書

金 66,000 円也

上記料金正に領収致しました。

平成 29 年 月 日

様

取扱 _____ 印

申 込 書

氏名: _____

(才 / 男・女)

住所: _____

電話: _____

用品代	数	計
軸(15,000円)		円
帳面(1,200円)		円
白衣(1,500円)		円
着用白衣(2,200円)		円
旅行代金		66,000円
合 計		円